

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア
ルネサス エレクトロニクス株式会社
問合せ窓口 <https://www.renesas.com/jp/ja/support/contact/>

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RH8-B0303A/J	Rev.	第1版
題名	RH850 CSIH レジスタの予約ビット書込み値に関する制限		情報分類	技術情報	
適用製品	RH850/C1x,C1M-A RH850/F1H-100	対象ロット等	関連資料	R01UH0414JJ0160 (C1x) R01UH0607JJ0120 (C1M-A) R01UH0631JJ0101 (F1H-100)	
		全て			

RH850 製品に関して、CSIH レジスタの予約ビット書込み値の記載に変更があります。赤字：変更箇所

1. 変更箇所

1.1 C1x

[After]

11.3.12 CSIHnTX0W – CSIHn ワードアクセス用送信データレジスタ 0

表 11.25 CSIHnTX0W レジスタの内容 (1/2)

ビット位置	ビット名	機能
31	CSIHnCIRE	デュアルバッファモードまたは送信専用バッファモードのときの通信割り込み要求 INTCSIHTIC または FIFO モードのときのジョブ完了割り込み INTCSIHTIJC を許可します。 0：割り込みを要求しません。 1：割り込みを要求します。送信後、割り込み INTCSIHTIC または INTCSIHTIJC を発生します。詳細については、「11.4.3 INTCSIHTIC (通信ステータス割り込み)」と「11.4.6 INTCSIHTIJC (ジョブ完了割り込み)」を参照してください。 注意 このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。
30	CSIHnEOJ	ジョブの終了を指定します。 0：エンドオブジョブデータではないことを示します。ジョブを続行します。 1：エンドオブジョブデータであることを示します。 注意 このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。 スリープモードで使用するときこのビットは必ず 0 に設定してください。
29	CSIHnEDL	関連付けられたデータが拡張データ長 (EDL) オプションを必要とするかどうかを指定します。 0：通常の動作。 1：拡張データ長を有効にします。 関連付けられたデータは 16 ビットのパケットとして送信されます。データ送信後にデータ間時間またはアイドル時間は挿入されません。 CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 かつ CSIHnTX0W.CSIHnEDL = 1 の場合は、次のデータに対しても同じ CS を選択しなければなりません。次のデータに対して CS を変更した場合、正しい動作は保証されません。 注意 このビットは CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 のときにのみ利用できます。
28 ~ 20	予約ビット	リードした場合はリセット後の値が読めます。ライトする場合はリセット後の値を書き込んでください。 但し、CSx(x=0~3 のいずれか)をマスタモードで使用しているときは、00F_Hを書き込んでください。

[Before]

11.3.12 CSIHnTX0W – CSIHn ワードアクセス用送信データレジスタ 0

表 11.25 CSIHnTX0W レジスタの内容 (1/2)

ビット位置	ビット名	機能
31	CSIHnCIRE	<p>デュアルバッファモードまたは送信専用バッファモードのときの通信割り込み要求 INTCSIHTIC または FIFO モードのときのジョブ完了割り込み INTCSIHTIJC を許可します。</p> <p>0：割り込みを要求しません。</p> <p>1：割り込みを要求します。送信後、割り込み INTCSIHTIC または INTCSIHTIJC を発生します。詳細については、「11.4.3 INTCSIHTIC (通信ステータス割り込み)」と「11.4.6 INTCSIHTIJC (ジョブ完了割り込み)」を参照してください。</p> <p>注意</p> <hr/> <p>このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。</p>
30	CSIHnEOJ	<p>ジョブの終了を指定します。</p> <p>0：エンドオブジョブデータではないことを示します。ジョブを続行します。</p> <p>1：エンドオブジョブデータであることを示します。</p> <p>注意</p> <hr/> <p>このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。</p> <p>スリープモードで使用するときこのビットは必ず 0 に設定してください。</p>
29	CSIHnEDL	<p>関連付けられたデータが拡張データ長 (EDL) オプションを必要とするかどうかを指定します。</p> <p>0：通常の動作。</p> <p>1：拡張データ長を有効にします。</p> <p>関連付けられたデータは 16 ビットのパケットとして送信されます。データ送信後にデータ間時間またはアイドル時間は挿入されません。</p> <p>CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 かつ CSIHnTX0W.CSIHnEDL = 1 の場合は、次のデータに対しても同じ CS を選択しなければなりません。次のデータに対して CS を変更した場合、正しい動作は保証されません。</p> <p>注意</p> <hr/> <p>このビットは CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 のときにのみ利用できます。</p>
28 ~ 20	予約ビット	<p>リードした場合はリセット後の値が読めます。ライトする場合はリセット後の値を書いてください。</p>

1.2 C1M-A

[After]

11.3.12 CSIHnTX0W — CSIHn ワードアクセス用送信データレジスタ 0

表 11.25 CSIHnTX0W レジスタの内容 (1/2)

ビット位置	ビット名	機能
31	CSIHnCIRE	デュアルバッファモードまたは送信専用バッファモードのときの通信割り込み要求 INTCSIHTIC または FIFO モードのときのジョブ完了割り込み INTCSIHTIJC を許可します。 0: 割り込みを要求しません。 1: 割り込みを要求します。送信後、割り込み INTCSIHTIC または INTCSIHTIJC を発生します。詳細については、「11.4.3 INTCSIHTIC (通信ステータス割り込み)」と「11.4.6 INTCSIHTIJC (ジョブ完了割り込み)」を参照してください。 注意: このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。
30	CSIHnEOJ	ジョブの終了を指定します。 0: エンドオブジョブデータではないことを示します。ジョブを続行します。 1: エンドオブジョブデータであることを示します。 注意: このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。 スレーブモードで使用するときこのビットは必ず0に設定してください。
29	CSIHnEDL	関連付けられたデータが拡張データ長 (EDL) オプションを必要とするかどうかを指定します。 0: 通常の動作。 1: 拡張データ長を有効にします。 関連付けられたデータは 18 ビットのバケットとして送信されます。データ送信後にデータ間時間またはアイドル時間は挿入されません。 CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 かつ CSIHnTX0W.CSIHnEDL = 1 の場合は、次のデータに対しても同じ CS を選択しなければなりません。次のデータに対して CS を変更した場合、正しい動作は保証されません。 注意: このビットは CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 のときにのみ利用できます。
28~20	予約ビット	リードした場合はリセット後の値が読めます。ライトする場合はリセット後の値を書いてください。 但し、CSx(x=0~3のいずれか)をマスタモードで使用しているときは、00FHを書いてください。

[Before]

11.3.12 CSIHnTX0W — CSIHn ワードアクセス用送信データレジスタ 0

表 11.25 CSIHnTX0W レジスタの内容 (1/2)

ビット位置	ビット名	機能
31	CSIHnCIRE	デュアルバッファモードまたは送信専用バッファモードのときの通信割り込み要求 INTCSIHTIC または FIFO モードのときのジョブ完了割り込み INTCSIHTIJC を許可します。 0: 割り込みを要求しません。 1: 割り込みを要求します。送信後、割り込み INTCSIHTIC または INTCSIHTIJC を発生します。詳細については、「11.4.3 INTCSIHTIC (通信ステータス割り込み)」と「11.4.6 INTCSIHTIJC (ジョブ完了割り込み)」を参照してください。 注意: このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。
30	CSIHnEOJ	ジョブの終了を指定します。 0: エンドオブジョブデータではないことを示します。ジョブを続行します。 1: エンドオブジョブデータであることを示します。 注意: このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。 スレーブモードで使用するときこのビットは必ず 0 に設定してください。
29	CSIHnEDL	関連付けられたデータが拡張データ長 (EDL) オプションを必要とするかどうかを指定します。 0: 通常の動作。 1: 拡張データ長を有効にします。 関連付けられたデータは 18 ビットのバケットとして送信されます。データ送信後にデータ間時間またはアイドル時間は挿入されません。 CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 かつ CSIHnTX0W.CSIHnEDL = 1 の場合は、次のデータに対しても同じ CS を選択しなければなりません。次のデータに対して CS を変更した場合、正しい動作は保証されません。 注意: このビットは CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 のときにのみ利用できます。
28~20	予約ビット	リードした場合はリセット後の値が読めます。ライトする場合はリセット後の値を書いてください。

1.3 F1H-100

[After]

16.3.12 CSIHnTX0W – CSIHn ワードアクセス用送信データレジスタ 0

表 16.26 CSIHnTX0W レジスタの内容 (1/2)

ビット位置	ビット名	機能
31	CSIHnCIRE	<p>デュアルバッファモードまたは送信専用バッファモードのときの通信割り込み要求 INTCSIHTIC または FIFO モードのときのジョブ完了割り込み INTCSIHTIJC を許可します。</p> <p>0：割り込みを要求しません。</p> <p>1：割り込みを要求します。送信後、割り込み INTCSIHTIC または INTCSIHTIJC を発生します。詳細については、「16.4.3 INTCSIHTIC (通信ステータス割り込み)」と「16.4.6 INTCSIHTIJC (ジョブ完了割り込み)」を参照してください。</p> <p>注意</p> <hr/> <p>このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。</p>
30	CSIHnEOJ	<p>ジョブの終了を指定します。</p> <p>0：エンドオブジョブデータではないことを示します。ジョブを続行します。</p> <p>1：エンドオブジョブデータであることを示します。</p> <p>注意</p> <hr/> <p>このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。</p> <p>スLEEPモードで使用するときこのビットは必ず0に設定してください。</p>
29	CSIHnEDL	<p>関連付けられたデータが拡張データ長 (EDL) オプションを必要とするかどうかを指定します。</p> <p>0：通常の動作。</p> <p>1：拡張データ長を有効にします。</p> <p>関連付けられたデータは 16 ビットのバケットとして送信されます。データ送信後にデータ間時間またはアイドル時間は挿入されません。</p> <p>CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 かつ CSIHnTX0W.CSIHnEDL = 1 の場合は、次のデータに対しても同じ CS を選択しなければなりません。次のデータに対して CS を変更した場合、正しい動作は保証されません。</p> <p>注意</p> <hr/> <p>このビットは CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 のときにのみ利用できます。</p>
28 ~ 20	予約ビット	<p>リードした場合はリセット後の値が読めます。ライトする場合はリセット後の値を書いてください。</p> <p>但し、CSx(x=0~3のいずれか)をマスターモードで使用しているときは、00FH を書いてください。</p>

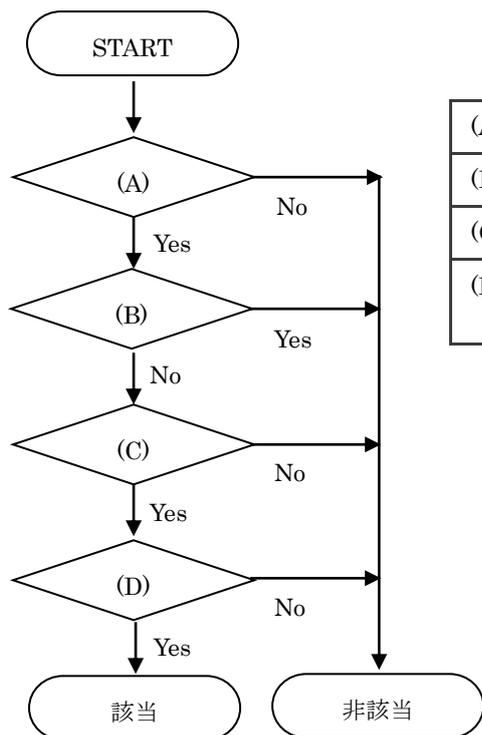
[Before]

16.3.12 CSIHnTX0W – CSIHn ワードアクセス用送信データレジスタ 0

表 16.26 CSIHnTX0W レジスタの内容 (1/2)

ビット位置	ビット名	機能
31	CSIHnCIRE	<p>デュアルバッファモードまたは送信専用バッファモードのときの通信割り込み要求 INTCSIHTIC または FIFO モードのときのジョブ完了割り込み INTCSIHTIJC を許可します。</p> <p>0：割り込みを要求しません。</p> <p>1：割り込みを要求します。送信後、割り込み INTCSIHTIC または INTCSIHTIJC を発生します。詳細については、「16.4.3 INTCSIHTIC (通信ステータス割り込み)」と「16.4.6 INTCSIHTIJC (ジョブ完了割り込み)」を参照してください。</p> <p>注意</p> <p>このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。</p>
30	CSIHnEOJ	<p>ジョブの終了を指定します。</p> <p>0：エンドオブジョブデータではないことを示します。ジョブを続行します。</p> <p>1：エンドオブジョブデータであることを示します。</p> <p>注意</p> <p>このビットはジョブモードが有効になっているとき (CSIHnCTL1.CSIHnJE = 1) にのみ有効です。</p> <p>スレープモードで使用するときこのビットは必ず 0 に設定してください。</p>
29	CSIHnEDL	<p>関連付けられたデータが拡張データ長 (EDL) オプションを必要とするかどうかを指定します。</p> <p>0：通常の動作。</p> <p>1：拡張データ長を有効にします。</p> <p>関連付けられたデータは 16 ビットのバケットとして送信されます。データ送信後にデータ間時間またはアイドル時間は挿入されません。</p> <p>CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 かつ CSIHnTX0W.CSIHnEDL = 1 の場合は、次のデータに対しても同じ CS を選択しなければなりません。次のデータに対して CS を変更した場合、正しい動作は保証されません。</p> <p>注意</p> <p>このビットは CSIHnCTL1.CSIHnEDLE = 1 のときにのみ利用できます。</p>
28 ~ 20	予約ビット	<p>リードした場合はリセット後の値が読めます。ライトする場合はリセット後の値を書いてください。</p>

2. 判定フロー



(A)	CSIH をマスタモードで使用している
(B)	CSIHnTX0W[23:20]へ常に F _H を書いている
(C)	CSIHnCFGx.CSIHnRCBx へ 1 _B を書いている
(D)	CSIHnCFGx.CSIHnRCBx=1 _B の CS 信号のみをアクティブ(CSIHnTX0W.CSIHnCSx=0 _B)にしている

3. 今後の対応

ユーザーズマニュアルにおきまして、赤字の内容は、正誤表を発行予定です。

以上